

## ヒブワクチン（ヒブ＝H i b：インフルエンザ菌 b 型）

### 【ヒブ（H i b）感染症について】

インフルエンザ菌 b 型（以下ヒブ）は、ヒトの鼻やのどで繁殖します。健康な状態で保菌している人が大半ですが、咳やくしゃみなどの飛沫を介して感染し、中耳炎、副鼻腔炎、気管支炎などの他、髄膜炎、敗血症、喉頭蓋炎、肺炎など乳幼児の重篤な感染症をおこす細菌です。

細菌性髄膜炎の原因の 6 割がヒブによるもので、発症は 0 歳児が最も多く 5 歳未満がほとんどをしめます。生後 3 カ月から 1 歳の間は特に重篤な感染に罹りやすいといわれています。

### 【ヒブワクチンについて】

不活化ワクチンです

ヒブワクチンは髄膜炎や敗血症など重篤な感染症の予防に高い効果があります。

0 歳児が最も感染しやすいことから月齢の低いうちに接種を開始することが必要です。

副反応として接種部位が発赤し腫れることがあります。数日でおさまります。発熱はほとんどありません。

※ヒブワクチンは製造の初期段階に牛の成分が使用されていますが、その後の精製工程を経て製品化されています。すでに世界 100 か国以上で使用され、発売から 14 年間 1 億 5000 万回以上の接種においてワクチンが原因で T S E（伝達性海綿状脳症）にかかった報告はなく、理論上のリスクは否定できないもののこのワクチンを受けた人が T S E に罹る危険性はほぼないものと考えられています。

【接種方法】 ワクチン 0.5m l を皮下に接種します。

【定期接種できる期間】 生後 2 か月～5 歳になる日の前日まで

【スケジュール】 接種開始月齢により接種回数が異なります。

標準的には生後 2 カ月～7 カ月に至るまでの期間に接種を開始します。

接種開始時	2～6 カ月	： 4 回	（3～8 週間隔で 1 歳までに 3 回	その後 7～13 カ月の間に 1 回）
	7～11 カ月	： 3 回	（3～8 週間隔で 1 歳までに 2 回	その後 7～13 カ月の間に 1 回）
	1 歳～4 歳	： 1 回		

【接種費用】 無料（23 区内の予防接種予診票を持参し、記載された有効期限内であれば公費負担）

ただし 23 区内の予診票を持参しないで接種 対象年齢を超えての接種

指定医療機関以外での接種 規定の回数を超えての接種 是有料

【持参するもの】 予防接種予診票（体温以外の項目をあらかじめ記入しておいてください。）

母子健康手帳